

# 国連気候変動交渉と 途上国におけるグリーン技術の普及

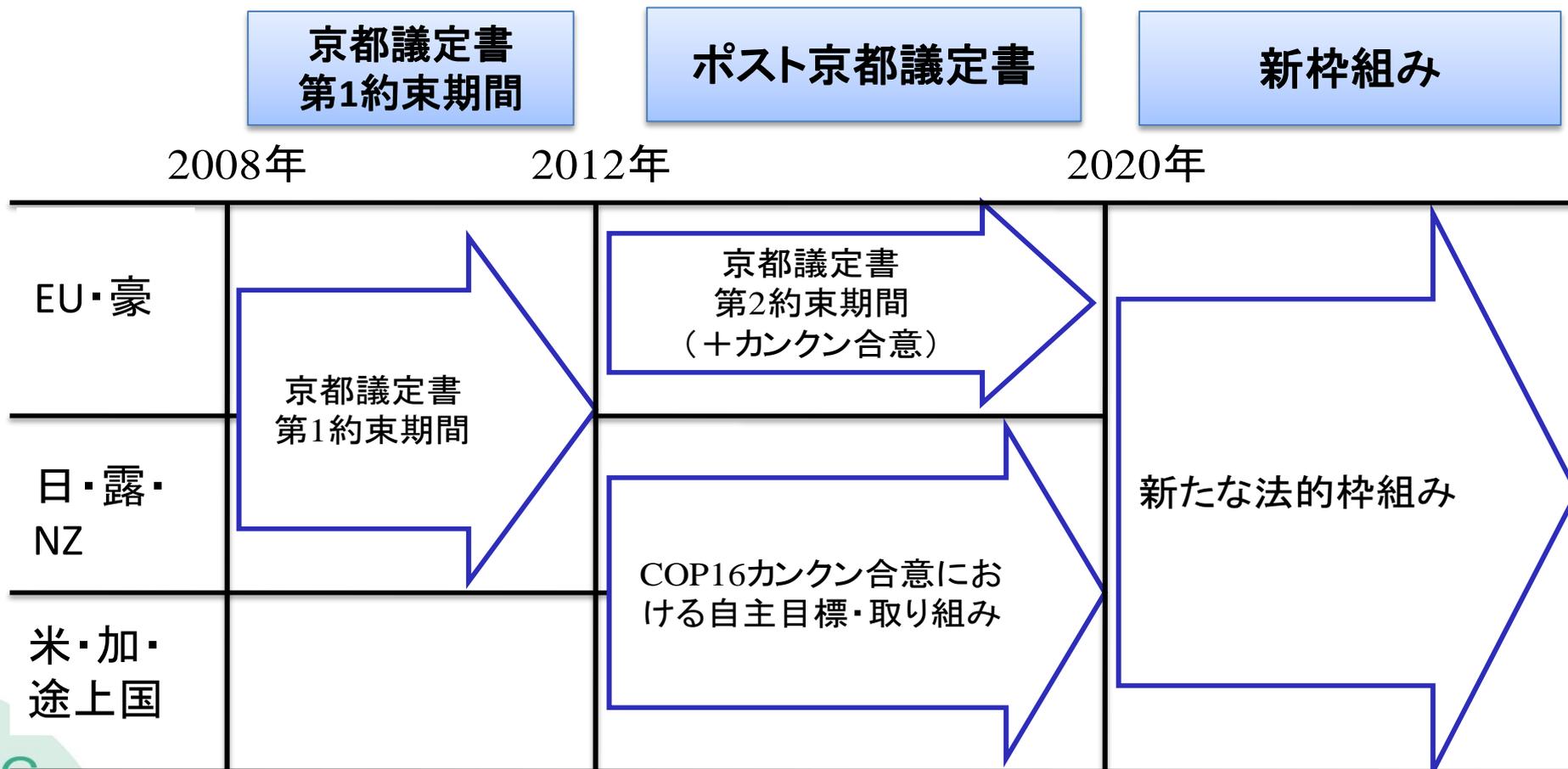
2014. 11. 12

東京大学公共政策大学院

本部 和彦

# 国連気候変動条約交渉（UNFCCC）の大きな流れ

- COP21（2015）での決着を目指して「新たな枠組み」を交渉中
- 2015年の前半には、各国の貢献（NDC）＝削減目標を提示する必要



# 気候変動枠組条約における技術の位置づけ

- **気候変動枠組条約 第4条5**

附属書II国は、他の締約国（特に開発途上締約国）がこの条約を実施することができるようにするため、…環境上適正な技術及びノウハウの移転又は取得の機会の提供について、促進し、容易にし及び資金を供与するための実施可能なすべての措置をとる。（以下略）

- 排出量が増大する途上国で削減を進めるために、技術移転をどう促進するかは、交渉上も大きな課題。

- **COP 16 (2010) @カンクン**

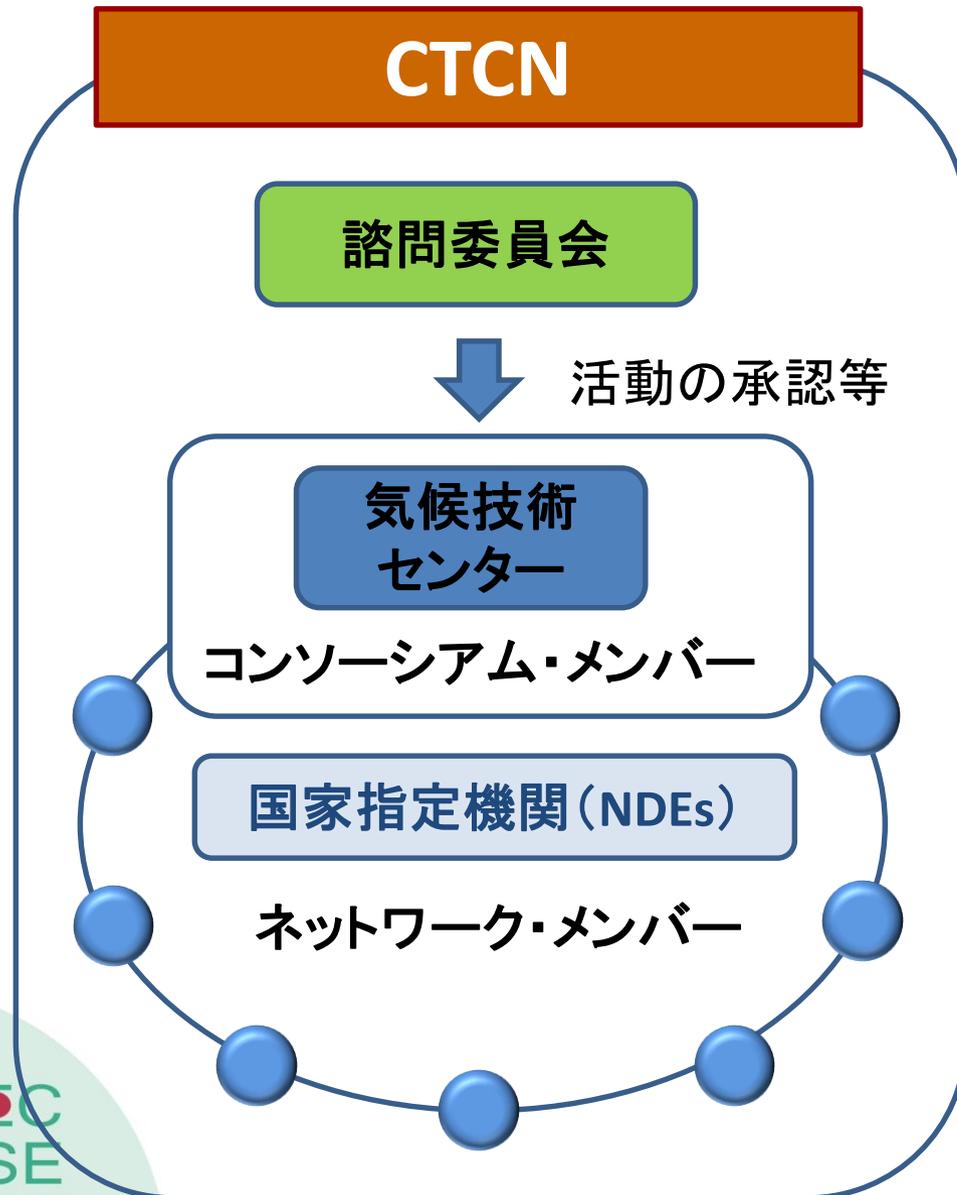
技術執行員会(TEC)と気候技術センターネットワーク(Climate Technology Center and Network)から成る技術メカニズムの構築に合意

- **COP 18 (2012) @ドーハ**

UNEP+UNIDOをCTCNのホスト機関として承認

- **2013年2月CTC設立@コペンハーゲン**

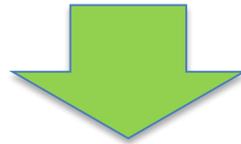
# CTCNの構成



- UNEPとUNIDOがホスト
- 諮問委員会 (Advisory Board) は先進国8名、途上国8名の委員等で構成
- コンソーシアム・メンバーとは、設立を申請した13機関
- 気候技術センター (CTC) は小規模な組織とする
  - コンソ・メンバーが技術支援
  - 小規模即応案件はコンソ・メンバーで対応
- NDE (National Designated Entity) は各国の窓口 (Focal Point)
- 本格サービスはネットワーク・メンバーが提供

# CTCNの課題(1)

- 24の支援要請(リクエスト)が到着。2件を処理済み。12件を処理中。更に複数の国からコンタクト。
- 多くのリクエストが、技術の特定や人材育成。技術移転とは言い難い。



- 「技術ニーズ・アセスメント」など過去の活動の成果として、「技術移転クリアリングハウス」には約290件の具体的なプロジェクト提案が蓄積。その活用が必要。
- 良いリクエストが書けない LDCのNDEに対して、「リクエスト・インキュベーション事業」として、オンザジョブ・トレーニングを通じた人材育成支援事業(3万ドル/国)を行うこととなった。
- 産業やエネルギー部門への知見が豊富なUNIDOへの期待。

# リクエストの具体例

	国名	リクエスト
1	アフガニスタン	水資源・農業セクターの適応技術と再エネ技術のニーズ評価
2	チリ	気候変動下での生物多様性モニタリング・ネットワークのデザイン
3	コロンビア	適応効果に係る指標システムのデザイン
4	コロンビア	廃棄物の機械・生物的処理(MBT)パイロットプロジェクトの開発
5	コロンビア	国家省エネ・再エネ政策のモニタリング・評価
6	コートジボアール	Adidjan地区での大気汚染削減戦略の策定
7	ガーナ等4か国	低GWPの冷凍・空調機器普及に向けた支援(技術・機器データベース作成、技術・政策ベンチマーク、BaU及び緩和予測等)
8	ホンジュラス	Cuyamel Omoa地方のマングローブ林モニタリングに関する地方のキャパビル
9	イラン	太陽電池設計・製造技術
10	パキスタン	気候変動に適応した農作業への技術支援の拡充
11	シリア	技術ニーズ評価
12	ペルー等4か国	地域内連携センターとコーディネーション

## CTCNの課題(2)

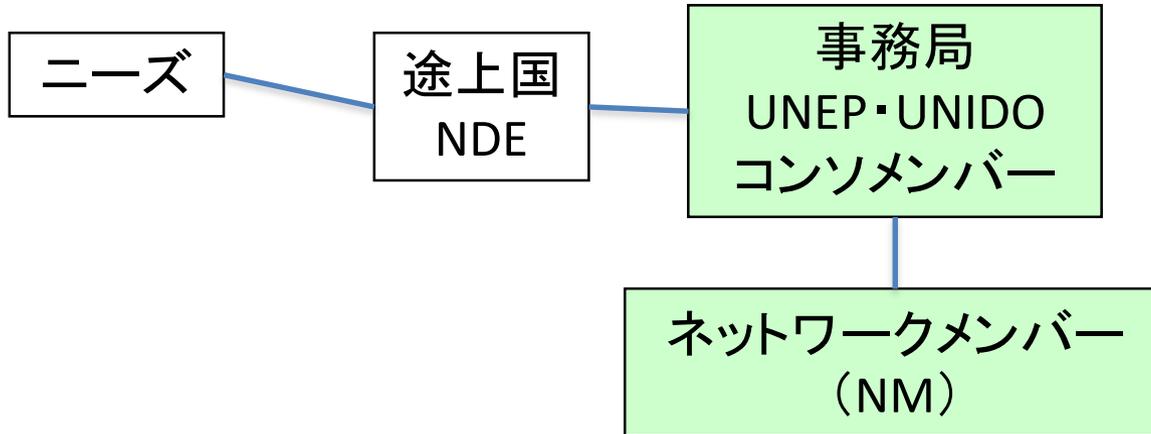
- 登録済みのネットワーク・メンバーは、国際機関、NGO、NPO、研究機関などが中心。
- 技術を保有する産業界のメンバーがいない。



- EUに続き日本がNDEの登録を表明したことで、米・加も続き、途上国、先進国の双方にNDEが存在するネットワークの基本的な形が定まる。
- 先進国のNDEの大きな役割は、基本的には供給能力(技術の供給意欲のある産業界メンバー)の掘り起こし。
- APPや経団連自主行動計画を通じて、業種・業界単位で排出削減や国際協力に取り組んできた日本の力を示す絶好の機会。
- 産業界の参加を得るために、今後ファイナンス・メカニズムとの連携の在り方が検討される。

# ネットワークの形(試案)

## COP決定に書かれた姿



## 今後の姿(試案)

